

第14回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会 議事内容

日時：平成26年8月25日(月)14:00～16:00

場所：KKR甲府ニュー芙蓉 アメジストホール

■委員会出席者

山梨大学大学院 教授	佐々木 邦明(委員長)
山梨県経済同友会代表幹事	入倉 要
甲府商工会議所卸売商業部会部会長	遠藤 一郎
山梨県タクシー協会会長	大木 政(欠席)
山梨県バス協会専務理事	中谷 晃
山梨県トラック協会会長	坂本 政彦
山梨県交通安全協会専務理事	北村 正彦
日本自動車連盟山梨支部事務所長	武田 文宏
山梨県交通安全母の会連合会会長	池田 春子
中日本高速道路(株)八王子支社 企画調整チーム担当リーダー	角谷 俊彦
交通規制チームリーダー	折野 好倫
甲府保全・サービスセンター所長	東久保 忠
山梨県観光部観光企画・ブランド推進課長	仲田 道弘
山梨県県土整備部道路整備課長	丹澤 彦一(代理：中村)
山梨県県土整備部道路管理課長	三浦 市郎(代理：山本)
山梨県警察本部交通部交通規制課長	初原 豊(代理：工藤)
国土交通省関東運輸局首席運輸企画専門官	岡村 清二(欠席)
国土交通省甲府河川国道事務所長	田中 克直
国土交通省関東地方整備局道路部	

■議事内容

●交通円滑化関係

- ・渋滞対策の進捗状況確認
- ・対策箇所の効果確認(フォローアップ)
- ・最新の交通状況による分析(モニタリング)結果
- ・優先対策箇所の選定方法・考え方、渋滞の要因分析
- ・「道路を賢く使う取り組み」の観点での渋滞対策のあり方

●交通安全関係

- ・追加候補箇所の選定について
- ・事故危険区間の事業進捗状況報告
- ・事故危険区間の交通安全対策カルテ整理方針



(委員会の様子)

■審議結果

●交通円滑化関係

<決定事項>

- ・優先対策箇所の考え方、渋滞対策の進め方について了承を得た。公表にあたっては、本日いただいたご意見を踏まえ事務局で修正し、委員長に内容を確認していただいた上で、公表することを確認した。

<議事内容>

【経済同友会】

- ・消費税増税・6月30日に休日ETC割引の終了（平日のETC割引が終了、休日の割引率が引き下げ）による一般道の利用が増加している可能性があることから、今後一般道への影響分析を行って欲しい。また、エコや経済性の観点から、今後もETC割引を継続する議論があってもいいのではないか。

【事務局回答】

- ・今回分析データがH25.1～H25.12であるため、今回の委員会で示すことができなかった。今後、H26.4以降のデータを分析していく。

【委員長意見】

- ・休日ETC割引が終了（平日のETC割引が終了、休日の割引率が引き下げ）し、山梨県全体の交通流動の変化を分析することも必要である。県全体の交通流動を踏まえ、根本的な渋滞対策をすることが望ましい。

【山梨県警察本部】

- ・災害等により高速道と一般道のどちらかで通行止めが発生した場合、迂回が発生し、影響の大きな箇所に対して優先的に対策を実施することも視野に入れ、優先対策箇所を検討してもらいたい。

【事務局回答】

- ・今後、通行止め時の影響分析を行い、必要に応じ、対策を検討する。

【委員長意見】

- ・優先対策箇所の検討では、ネットワークの信頼性、所要時間の信頼性等も考慮してもらいたい。

【山梨県道路管理課・トラック協会・警察】

- ・限られた予算の中で、事故や渋滞の分析が求められており、ビッグデータを活用することで効果的・効率的な分析が可能となることに期待している。
- ・ブレーキ回数データは、事故分析に有益。プローブデータは警察でも利用を検討。

●交通安全関係●

<決定事項>

- ・追加候補箇所の選定について了承を得た。

<議事内容>

【バス協会】

- ・パンフレットによる事故が多発している箇所の情報提供は、バスの安全運行に役立っており、今後も引き続き実施していただきたい。